

神戸市農地利用最適化推進委員の募集結果

【本人による応募】

番号	応募区域	氏名	性別	年齢	職業	経歴	農業経営の状況	応募理由	農業委員への 応募の有無
						(農業に関する組織や 団体等における役員等)	主要な作物		
1	第8地区	岡田 雄二	男	70	農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴィクトリアファーム株式会社代表取締役 ・農業生産法人株式会社あしたの農業代表取締役 ・農業生産法人株式会社あしたの農業取締役 	<ul style="list-style-type: none"> ・カボチャ ・マンゴー ・ベビーリーフ ・ショウガ 	<p>湛水、景観、生物多様性、有機物分解、伝統文化継承などの要素を持つ農地は、都市計画区域内であっても許される限りは残しておくことが大切だと考えています。</p> <p>私は、農業專業経験者、宅地建物取引主任士、JGAP指導員という経験と免許を持ち合わせており、農地の適正化については多面的な視覚から見て意見ができると考えています。そのため推薦応募が多い中であえて自己推薦で神戸市の農地利用最適化推進委員に応募しました。</p>	無
2	第4地区	植田 耕輔	男	53	行政書士	-	-	<p>神戸市は湾岸部においては都市化が進んでいますが、北部には多くの農地が存在します。そうした農地で生産される農産物は神戸市のみならず、兵庫県や近畿圏にとって重要な生産物です。</p> <p>そうした中、農村部での就農者の方々の高齢化に伴い、後継者となる就農希望者への農地の効率的な引継ぎが大変重要であると感じています。私は効率的な引継ぎという面で相続や行政手続きを法律や実務面で専門的にサポートすることもできます。こうした理由から農地利用の最適化の推進や遊休農地の有効な活用の促進を法律面、行政手続き面なども含め、サポートすることに尽力したく応募しました。</p>	無
3	第5地区	田村 茂	男	51	農業	<ul style="list-style-type: none"> ・淡路島山田屋農業研修 ・農業法人合同会社ヤマタムラ代表社員 ・こうべ果樹の学校研修生 	<ul style="list-style-type: none"> ・生食用ぶどう 	<p>昨年神戸市内の農地とご縁があり、淡路市より移住し新規就農しました。その時、地域の方に大変お世話になり、地域との関わりのなかった私たちが快く受け入れていただき就農できました。現在、「こうべ果樹の研修学校」に通っておりますが、研修生から農地確保の難しさをよく聞きます。地域の人々と将来の農地の担い手になる人々を繋げること、農地活用に困っている市民の困りごとを解消するお手伝いができればと思い応募しました。</p>	無
4	第8地区	田坂 茂樹	男	56	行政書士	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫県土地改良事業団体連合会非常勤嘱託職員 ・兵庫県土地改良事業団体連合会臨時雇員 	-	<p>神戸市東灘区在住なので、直接農業に携わった経験はほぼ無いですが、行政書士の資格を有しているため農地転用の書類作成、測量士補として測量機器を使っての实地測量、及びCADを使っての図面作成等の一助になれるかと思いい応募させて頂きました。</p> <p>宅地建物取引士・ファイナンシャルプランナー2級等の資格も有し、司法書士事務所、兵庫県土地改良事業団体での勤務経験もありますので、不動産に関する知識はそれなりに有しております。</p>	無